

2008/9/19

麻生太郎です。

北朝鮮でいま、何が起きつつあるか。

リーマン、AIG の後の、市場の行方。

見据えていきませんか、わかりません。

世界というものは、いま、見通しをつけにくい時期に差し掛かったと存じます。

日米同盟は、その分、重要性を増します。

ジョン・マケインであれ、バラック・オバマであれ、次の米国大統領には、麻生太郎を、大いに頼りにしてもらいます。

中国、韓国。

この両国とは、これからも、いろいろ問題が起きると思います。

しかし慌てることは、ありません。

なぜならば、日中韓 3 国は、共に栄える定めにあるからです。

中国が台頭した、インドも伸びた。

ああこれはいい事が起きたな、と思います。

ひとつそこから、日本も儲けさせてもらおう。

そう思うべきです。

民主主義、高度な経済、技術革新。

日本は長いこと、これでやってきております。

最近では中国が、日本のこうした経験に学びたいと言い出しております。

経験を参考にさせていただける、課題解決先進国。それが、日本です。

アジアにおける日本のもう一つの役割。

それは、スタビライザーだということです。米国と、ここは一緒にやります。

先行きを見通しにくくなったら、友達と話すもんです。

やろうと思っております。

オーストラリア、インド、EU や NATO、といったところが念頭にあります。

麻生太郎はタカ派であるか。

日本の役割、平和と安定、国益を守るため、進んで身をなげうつ覚悟があるという意味でなら、タカ派です。

経済面。

長期目標は、日本の潜在成長力を高めることです。中期には、財政構造の改革と分権です。短期には、税制インセンティブなど、財政手段を使って、景気を浮上させます。

ひとつ質問ですが、民主党というのは与党になれますか。日銀、給油、予算 。こういうもの全部を、人質に取る党です。わたしども、自民党は、負けていられません。だからこそ、わたしは総理総裁を目指しているのであります。

有難うございました。